

概要

- 7月3日(土)午前、静岡県熱海市内の住宅地域において土石流が発生。
- 同日1230、陸上自衛隊第34普通科連隊長(板妻)は、静岡県知事からの災害派遣要請を受理。
- 7月4日(日)、陸自及び空自の総計約430名の態勢で活動を再開、このうち約280名の隊員及び災害救助犬5頭により現地で捜索救助活動を実施。

自衛隊の主な活動

活動実績

3日(土)

1 人命救助活動

- 第34普通科連隊の初動対処部隊(ファストフォース)30名により人命救助活動を実施し、警察や消防と連携してこれまでに4名を救助。
- 第34普通科連隊及び第1戦車大隊(駒門)の増援部隊約135名が、順次現地に到着。
- 第1施設大隊(朝霞)の約20名及び重機4両(掩体掘削機×2、油圧ショベル×1、バケットローダ×1)が現地に向けて前進。

2 情報収集等

- 第34普通科連隊(板妻)の3名が情報収集等を実施。
- 東部方面航空隊(立川)のUH-1×1(映像伝送機)及び第1飛行隊(立川)のUH-1×1が待機。

3 連絡員の派遣

- 静岡県庁に3名、熱海市役所に7名及び東部地域局等に2名の連絡員を派遣。

活動状況

4日(日)

1 人命救助活動

- 0530以降、第34普通科連隊(板妻)、第1戦車大隊(駒門)及び第1施設大隊(朝霞)の人員約280名により活動中。
- 航空自衛隊の人員13名及び災害救助犬5頭が順次現場に到着し、活動予定。

2 情報収集等

- 0905以降、陸上自衛隊及び航空自衛隊のドローンにより、被災現場の情報収集及び映像伝送を実施中。
- 東部方面航空隊(立川)のUH-1×1及び第1飛行隊(立川)のUH-1×1が航空偵察を予定していたものの、天候の影響により飛行できていない。天候回復次第、飛行予定。

3 連絡員の派遣

- 静岡県庁に2名、熱海市役所に9名の連絡員を派遣。

位置関係図

